

# 平成29年6月 全国百貨店売上高概況

平成29年7月21日

## I. 概況

1. 売上高総額	4,720億円余
2. 前年同月比	1.4% (店舗数調整後/2か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	80社 229店 (平成29年5月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,733,756㎡ (前年同月比: -3.9%)
5. 総従業員数	72,779人 (前年同月比: -4.5%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	11-1月 -1.8%、12-2月 -1.5%、1-3月 -1.2%、 2-4月 -0.6%、3-5月 -0.1%、4-6月 0.7%

[参考] 平成28年6月の売上高増減率は-3.5% (店舗数調整後)

### 【特徴】

6月の売上高は1.4%増と2か月ぶりに前年実績を上回った。

背景には、円安株高で富裕層の高額消費やインバウンド(約184億円/41.4%増)が好調推移したことに加え、少雨高温の天候が夏の季節需要を押し上げたほか、多くの店舗でクリアランスセールを6月末開始に前倒ししたことなど、プラス与件が重なったことが挙げられる。

その結果、中期トレンドを示す3か月移動平均値(+0.7%)も18期ぶり(平成27年10-12月/+0.3%以来)にプラス転換し、回復基調は着実に高まってきている。

地区別では、大都市(10都市)が4か月連続プラスの2.4%増となった。6か月連続で増勢が続く札幌(4.8%増)・大阪(7.3%増)の他、6都市(仙台・東京・横浜・名古屋・京都・福岡)で前年をクリアした。一方、地方(10都市以外の地区)については、地域経済の不振や中間層消費の弱さから、8地区合計で0.7%減(2か月連続マイナス)と前年実績には僅かに届かなかった。

商品別では、セールの前倒しやファッション催事の積極展開等により、主力の衣料品(0.5%減)は前年並みまで回復。雑貨(7.9%増)は、資産効果やインバウンド需要で、細分類の高額商材(美術・宝飾・貴金属:4.6%増)と化粧品(16.7%増)が依然好調で7か月連続のプラスとなった。また、ラグジュアリーブランドが好調な身のまわり品(2.8%増)も2か月ぶりのプラス。

中元の前半戦については、店頭受注の減少傾向をネット受注の伸びがカバーする形で、ほぼ前年並み(その他食料品:0.5%減/菓子:1.3%増)で推移した。

今月のプレミアムフライデーはセール初日と重なった店舗も多く、限定商品購入やイベント参加者の増加に繋がった。

### 【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「6月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇東・西日本では、中旬まで移動性高気圧に覆われやすく、平年に比べて曇りや雨の日が少なかった。このため、日照時間は東日本でかなり多く、降水量は東日本太平洋側でかなり少なかった。一方、北日本では、北海道を中心に降水量はかなり多かった。また、西日本は冷涼な高気圧に覆われやすく、気温が低かった。

(2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比 ±0日)

(3) 土・日・祝日の合計 8日( " ±0日)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数129店舗)

①増加した:45店、②変化なし:32店、③減少した:52店

(5) 6月歳時記(中元、父の日)の売上(同上/有効回答数98店舗)

①増加した:10店、②変化なし:55店、③減少した:33

## 全国百貨店 売上高速報 2017年06月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>全 国</b>	<b>472,030,516</b>	<b>100.0</b>	<b>1.4 ( 0.4)</b>
<b>10都市</b>	<b>326,464,991</b>	<b>69.2</b>	<b>2.4 ( 2.3)</b>
札幌	11,954,855	2.5	4.8
仙台	6,156,925	1.3	4.1 ( -4.3)
東京	131,648,440	27.9	1.1
横浜	29,708,021	6.3	0.6
名古屋	29,511,106	6.3	0.6
京都	18,786,237	4.0	2.4
大阪	61,515,548	13.0	7.3
神戸	11,959,133	2.5	-0.5
広島	9,894,856	2.1	-1.4
福岡	15,329,870	3.2	5.0
<b>10都市以外の地区</b>	<b>145,565,525</b>	<b>30.8</b>	<b>-0.7 ( -3.5)</b>
北海道	1,429,289	0.3	-3.1 ( -40.2)
東北	7,327,503	1.6	0.2
関東	67,273,352	14.3	0.8 ( -3.9)
中部	10,879,632	2.3	-1.8
近畿	19,082,141	4.0	-5.2
中国	10,795,508	2.3	0.0
四国	7,444,165	1.6	0.0
九州	21,333,935	4.5	-1.2

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>472,030,516</b>	<b>100.0</b>	<b>1.4 ( 0.4)</b>
紳士服・洋品	29,941,253	6.3	-0.8 ( -1.7)
婦人服・洋品	86,981,960	18.4	-0.6 ( -1.6)
子供服・洋品	8,427,141	1.8	4.6 ( 3.7)
その他衣料品	10,232,441	2.2	-3.2 ( -4.2)
<b>衣 料 品</b>	<b>135,582,795</b>	<b>28.7</b>	<b>-0.5 ( -1.5)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>59,883,613</b>	<b>12.7</b>	<b>2.8 ( 1.9)</b>
化粧品	40,094,130	8.5	16.7 ( 15.7)
美術・宝飾・貴金属	29,785,186	6.3	4.6 ( 3.3)
その他雑貨	16,594,527	3.5	-4.0 ( -4.8)
<b>雑 貨</b>	<b>86,473,843</b>	<b>18.3</b>	<b>7.9 ( 6.9)</b>
家 具	4,711,896	1.0	-12.4 ( -13.0)
家 電	1,392,280	0.3	2.2 ( 2.2)
その他家庭用品	13,933,938	3.0	-4.8 ( -5.6)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>20,038,114</b>	<b>4.2</b>	<b>-6.3 ( -7.0)</b>
生 鮮 食 品	28,184,998	6.0	-2.5 ( -3.6)
菓 子	35,726,252	7.6	1.3 ( 0.2)
惣 菜	28,930,028	6.1	0.3 ( -0.2)
その他食料品	48,344,146	10.2	-0.5 ( -1.8)
<b>食 料 品</b>	<b>141,185,424</b>	<b>29.9</b>	<b>-0.3 ( -1.4)</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>12,771,865</b>	<b>2.7</b>	<b>-0.1 ( -1.1)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>4,924,808</b>	<b>1.0</b>	<b>3.1 ( 0.5)</b>
<b>そ の 他</b>	<b>11,170,054</b>	<b>2.4</b>	<b>11.4 ( 10.5)</b>
<b>商 品 券</b>	<b>16,763,521</b>	<b>3.6</b>	<b>-4.0 ( -4.8)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向      | 2.4% (店舗数調整後/4か月連続プラス)   |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -0.7% (店舗数調整後/2か月連続マイナス) |

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>2.4</b>	<b>1.7</b>	<b>4か月連続プラス</b>
札幌	4.8	0.1	6か月連続プラス
仙台	4.1	0.1	2か月ぶりプラス
東京	1.1	0.3	11か月ぶりプラス
横浜	0.6	0.0	3か月連続プラス
名古屋	0.6	0.0	3か月ぶりプラス
京都	2.4	0.1	15か月ぶりプラス
大阪	7.3	0.9	6か月連続プラス
神戸	-0.5	0.0	2か月連続マイナス
広島	-1.4	0.0	9か月連続マイナス
福岡	5.0	0.2	3か月連続プラス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>-0.7</b>	<b>-0.2</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
北海道	-3.1	0.0	9か月連続マイナス*
東北	0.2	0.0	20か月ぶりプラス*
関東	0.8	0.1	2か月ぶりプラス
中部	-1.8	0.0	3か月ぶりマイナス
近畿	-5.2	-0.2	4か月連続マイナス
中国	-0.0	0.0	2か月連続マイナス*
四国	-0.0	0.0	2か月連続マイナス
九州	-1.2	-0.1	3か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が7か月連続、身のまわり品が2か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が20か月連続、家庭用品が18か月連続、食料品が3か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が27か月連続、菓子が4か月連続、美術・宝飾・貴金属、惣菜が3か月連続、子供服・洋品が2か月ぶり、家電が7か月ぶりのプラスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>1.4</b>	<b>—</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
紳士服・洋品	-0.8	0.0	11か月連続マイナス
婦人服・洋品	-0.6	-0.1	20か月連続マイナス
子供服・洋品	4.6	0.1	2か月ぶりプラス
その他衣料品	-3.2	-0.1	20か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-0.5</b>	<b>-0.1</b>	<b>20か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>2.8</b>	<b>0.3</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
化粧品	16.7	1.2	27か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	4.6	0.3	3か月連続プラス*
その他雑貨	-4.0	-0.1	2か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>7.9</b>	<b>1.4</b>	<b>7か月連続プラス</b>
家具	-12.4	-0.1	2か月ぶりマイナス
家電	2.2	0.0	7か月ぶりプラス
その他家庭用品	-4.8	-0.2	15か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-6.3</b>	<b>-0.3</b>	<b>18か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-2.5	-0.2	39か月連続マイナス*
菓子	1.3	0.1	4か月連続プラス*
惣菜	0.3	0.0	3か月連続プラス*
その他食料品	-0.5	-0.1	4か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>-0.3</b>	<b>-0.1</b>	<b>3か月ぶりマイナス</b>
食堂喫茶	-0.1	0.0	2か月連続マイナス
サービス	3.1	0.0	2か月連続プラス
その他	11.4	0.2	2か月連続プラス
<b>商品券</b>	<b>-4.0</b>	<b>-0.2</b>	<b>76か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>